



とよおか

第 51 号

平成23年1月20日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱



“ヨーシ今年は飛躍”

(福島 木下英章さん飼育)

12月定例会



年頭のごあいさつ	2
第4回定例会のようす	3
予算特別委員会の質疑から・委員会だより	4～5
一般質問・議会活動報告・請願・陳情	6～11
視察研修報告	12～13
「私の一言」・私がんばっています・編集後記	14



この議会だよりは、再生紙を使用しています



目標に向かって (元旦マラソン)

年頭のごあいさつ

議会議員定数条例改正案否決は 議会の意思

—引き続き議会の在り方・議会改革を推める—

村議会議長 下 平 豊 久



新年あけましておめでとうございませう。

皆様方にはすがすがしい新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

私も議長に就任以来村政の進展と、円滑なる議会運営に全力をささげてまいったところでございませう。

この間村民の皆様方からお寄せ頂きました温かいご指導や、ご厚情に對しまして厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、一昨年来の国際的経済不況のもと数次にわたる経済不況対策が講じられて来ましたが、働く職場を失ったり大幅な賃金カットを余儀なくされるなど、深刻な雇用不安と生活破壊がさらに進行し、円高とも重なって厳しい状況であります。

春先の連続しての凍霜害と記録的な猛暑による果実等への大きな被害に加え、国民の購買力低下は農産物価格を不安定化させ、T P P 問題は農家に将来への大きな問題を突きつけております。

一方、一昨年八月の衆議院議員選挙で誕生した民主党政権は国民の期待を裏切り、有効な経済対策を打ち出せずにいます。村民に希望を与える施策の推

進を大いに期待致したいと存じます。

二月に国交省より発表されるリニア新幹線の間接報告は、直線ルートと飯田駅設置の方向が示されることとなります。

将来を見据えた地域振興への議論が活発に展開されることと思ひます。

昨年十二月の議会定例会では、議員定数の十二名への定数条例改正案が賛成少数で否決されました。議会の意思でありますのでご理解頂きたいと存じます。

引き続き議会活動のあり方・議会改革を進めてまいる所存であります。

今後とも、議会への変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年こそ天候に恵まれ平穏な年でありますように祈念するとともに、村民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

第四回定例会 来期の議員改選 定数は十四人で

第四回定例会は、十一月二十九日より十二月二十一日の二十三日間の会期で行われた。

開会日には、一般職、常勤特別職、教育長、議会議員の主として、期末手当の引き下げ（人事院勧告）のための条例改正案四件が上程され、委員会審査を経て、人事院勧告通り、期末手当を〇・一五ヶ月引き下げることなどを可とし、同日可決された。

十二月三日に再開された本会議には、補正予算案五件、請願陳情五件が上程され、各委員会へ附託、審査され、最終日の本会議へ送られた。

又、最終日には、新たに補正予算案二件、工事変更請負契約の締結一件、議員発議三件が上程され審査された。

これらの議案のうち、「L・O看護条約・夜業条約に基づき、医療・介護労働者の大幅増員と夜勤改善を求める陳情」は、継続審査に、「国保の広域化ではなく、国の財政支援機能の強化を求め、顔の見える市町村国保で健康と暮らしを守る陳情」は、不採択となったほか、「議会議員の定数を十四から十二に改めようとする条例改正の発議」は小差で否決された。

議員定数二減案は小差で否決

否決となった「豊丘村議会の議員定数を定める条例の一部改正」案は、現行条例の定数十四人を十二人に改めようとする菅沼敏議員と、賛同する四名の議員の連名で発議されたもので、その提案趣旨として、

- ・ 議員定数を論じるには、行財政改革の視点のみで行ってはならない。
- ・ 二元代表制のわが国の地方自治制度において、理事者とと

もに議会は、それぞれの議員が住民の声を、為政者である理事者に届け、施策に反映させなくてはならない。

・ 当豊丘村議会においても、山間部や障がい者など少数の人々を代表する議員の活躍も承知している。

・ 議員定数の削減が住民の声を村政に届けにくくすることは、物理的には事実である。

・ 当議会は、平成二十年度「全

国町村議会議長会」から全国三十三議会、県内四議会の内の一つとして、その審議方法、審議時間、組織の在り方などが評価され、会長表彰を受けた。

とする一方、定数二減は、当議会としてもつらいが、議会活動をさらに活発化する中で、住民の声をより一層議会として村民から吸い上げる努力と、システム造りが肝要である。

・ 他町村との比較はあまり意味もないが、しかし、喬木村は「十二」、高森町「十五」、松

川町「十四」を鑑みると、豊丘村議会としての現在の委員会中心主義を保ち、さらなる充実した審議を行う努力を、議員定数「十二」で行っていくべきである。

議員定数削減は、住民の声でもある。

とし、議員定数十二人とすべ

きと、賛同を求めた。

これに対し反対する議員からは、

・ 住民の声をより一層吸い上げるには、定数を減らす事は、意に反すること、議会としての機能低下を容認するわけにはいかない。

・ 単に他町村との比較、人口割的な考え方では定数を決めることは、短絡的すぎる。

・ 議会活動経験上から、今の委員会制の維持、活発な議論の場の堅持などからみても、現行十四人定数は最低線だ。

などの意見が出され、採決の結果、賛成六、反対七で、改正案は否決され、来期改選は現行の定数十四人で行われることに決した。

賛否の議員は、次の通りである。

◎賛成―菅沼敏、片桐義憲、原健治、東垣外厚、下平喜隆、松村正三。

◎反対―壬生章男、丸岡茂、片桐眞理子、川野孝子、唐澤啓六、片桐秀人、前沢光昭。

尚、議会では、今後のますますの議会活性化のために、様々な方向から見直しを行うなど議会の在り方の議論を重ね、方向性を見出す努力を機あることに進めている所だ。

一般会計補正 一億二千五百万円余を追加

一般会計補正予算、特別会計補正予算の七件の補正予算案は、委員会審査を経て、すべて原案通り可決された。

一般会計補正第四号では、四千七百二十五万八千円を追加、主なものとして、農地費で畑田井改修関連に一千五百五十万円、道路改良費で、中央横断線御手形、壬生沢線長坂に二千八百八十万円などが予算化された。

又、補正第五号では、国の緊急経済対策に対する補正予算の成立にともない、地域活性化・きめ細かな交付金、五千七百三十九万九千円、地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金、一千二百二十八万八千円などを充当し、事業化したのが、来年度への繰越事業も含まれている。

事業も含まれている。

予算特別委員会 質疑あわびつれ

とよおか祭りへ 町村会より助成金

片桐(義)議員 とよおか祭りの助成金の出所は。総務課長 町村会より、均等割人口割で約四十万円頂いている。菅沼議員 里山汁が早い時間に無くなり、あげパンの出店がない、どう企画しているのか。総務課長 里山汁は約九百食を四回作ったが二日間とも昼前後に好評で終了。あげパンは今年担当が都合つかず出店できなかった。

合併浄化槽修繕 増加の傾向

片桐(秀)議員 合併浄化槽修繕の内訳は。環境課長 ブロアーや本体の修繕・更新等である。今年になって修繕件数が多くなっている。菅沼議員 本体の修繕に至る要因分析はどうか。環境課長 竹や木の根、埋め戻しの際の石等が破損原因である。唐澤議員 補助率はどうか。

環境課長 上限十五万円、ブロアー交換で五万円迄である。又本体設置は2/3。

インフルエンザ接種事務 超過勤務で対応

原議員 保健衛生費で超過勤務手当の増額は何か。住民課長 保健師のインフルエンザ接種対応の事務費が主なものである。唐澤議員 インフルエンザ接種の内訳は。住民課長 六十五歳以上の低所得者の七割の方。六十五歳未満の子供と大人の五割の方。総額百四十四万六千円となる。

地域おこし協力隊 雇用ではなく呼び込みが目的

丸岡議員 地域おこし協力隊はどのような仕事をするのか。産建課長 都市から地方へ、過疎地や山村振興地へ全国で三千五百人を移転させるもの。豊丘村でうち二名を採用する。当面「たいち」にあつて都市部への戦略立案、竹林資源を活用した

料理、果物活用の新しい事業作り、給食センターでの地産地消への取り組みに当たる。唐澤議員 報酬は労働費に計上していないが何故か。産建課長 この事業は雇用が目的でなく、都市から農村へ目を向け、農村へ来させようとするもので、報酬は農業振興費としてある。

用水事業、地元負担金の あり方、見直し検討が必要

松村議員 畑田井の隧道工事費が全長修理の場合一億円余が見込まれる。この場合地元負担金は十二%の規定ゆえ大変なものである。地元は規定どおり村へ納めなくてはならないのか。村長 地元負担金のあり方について、見直しの検討が必要と思われる。地元とも相談して行く。

遊具撤去 その考え方に異議

菅沼議員 公園管理費で、サッカーゴールに登って落ちて怪我をしたから、ゴールを撤去するというのは筋が違う。健全に遊ぶ心を摘んでしまう。ルールやマナーを教える事と思うが。産建課長 女性団体からも撤去

は何かと聞いている。が管理を委嘱されている区長としては、整備をしてもすぐ破損修理や怪我があつては、苦渋の選択である。

鳥獣害防護柵 村内三分割して対応

松村議員 鳥獣害防護柵はどのように対処するのか。産建課長 村を消防分団割のよう三分割にし、その分割地域毎の合意形成(一月中旬迄)によつて村内対処したい。一戸当たり協力費三百円の拠出を願う。

介護給付費 約一割増

唐澤議員 介護保健費の増額は何かなのか。住民課長 通所介護やリハビリ、訪問介護、施設介護等への給付額の増額である。要介護者の軽度から重度へ進行が多くなった事にある。

洪水監視カメラ 実際に役立つのか

丸岡議員 有線事業費で監視カメラを洪水に備えて三河川に設置するとあるが、現在二ヶ所にある監視カメラの検証はどうさ

れているか。総務課長 カメラの運用は、大雨洪水警報時にONすれば増水状況を住民に観て頂き、災害防止へ備えて頂く。職員はその情報を得る中で適宜行動をとるとしている。

パルム駐車場に 待合所設置

片桐(秀)議員 商工費で待合所を設けるとあるがどこか。産建課長 パルム駐車場の北西の角。アクリル透明板で囲つた三米四方で、タクシーやバスを待つ間、寒さを少しでも避ける所としたい。

子宮頸ガン、ヒブワクチンは 今後定期接種化へ

前沢議員 子宮頸ガン、ヒブワクチンの接種は二年後からはどうなるのか。住民課長 二十三年迄は国が予算付している。その後の予防接種法定期接種化の検討。個人の負担でなく町村がやらなければならぬとされている。片桐(真)議員 この三種ワクチンの取扱いはどう徹底するのか。住民課長 該当者にはきちんと広報等で周知して行く。

委員会 だより

社会教 文

国保運営の広域化に反対し 国の財政支援の強化を求める陳情

社会文教委員長 丸岡 茂

陳情者は、飯伊社会保障推進協議会代表金子勇さんと神稲平澤多津子さん。

後期高齢者医療保険制度を廃止し、高齢者の多くを国民健康保険に移行させ、これを機に国保の運営を都道府県単位で広域に行うよう検討されています。

陳情者は、飯伊社会保障推進協議会代表金子勇さんと神稲平澤多津子さん。後期高齢者医療保険制度を廃止し、高齢者の多くを国民健康保険に移行させ、これを機に国保の運営を都道府県単位で広域に行うよう検討されています。

り低い当村の保険税が上がるなどの心配があります。しかし今後の高齢化の進展や医療の高度化などで医療費の増加は避けられず、小規模町村単位では高額医療を要する被保険者が急増したときなどの対応が困難を極めます。

ます。国保制度維持のため広域化はやむを得ないのではないかと、更には現時点で否定してしまいうわけにはいかないのではないかと、という理由で、採択反対者が多数を占め不採択としました。但し、国の財政支援は強化されるべきものであるし、陳情で訴えられた広域化の難点もできただけ解消されるよう委員会できず、小規模町村単位では高額医療を要する被保険者が急増したときなどの対応が困難を極めます。

務建 総産

TPP参加は農業・農村に 大打撃：反対の請願を採択

総務産建委員長 唐澤 啓六

陳情は「顔の見える市町村単位で保健、介護等と総合的に国保を運営してこそ、住民の健康と暮らしが守れる」と、これに反対しています。

今定例会には請願一件、陳情二件が総務産建委員会に附託され全て採択されました。内二件は同一趣旨で、飯伊農民組合（請願）とJANAみなみ信州（陳情）から環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への交渉参加に反対する意見書を政府と国会へ提出するよう求めるものです。

品目の関税を撤廃する協定で、食料自給率低下による食への不安の増大、農業が課している多面的機能退化による環境への悪影響、農業・食品関連産業の雇用機会の喪失等、日本農業と地域経済、国民生活に与える影響は極めて甚大であるとしています。

よって、防災・生活関連公共事業予算の拡充と、地方出先機関を存続し組織・人員の確保等業務執行体制の拡充を求めるもので全会一致採択しました。



社会文教委員会 南小体育館を視察

削減を目差した健康づくりへの意識が減少する心配や、現時点では県下平均より

◎TPP交渉参加反対の趣旨 政府は、TPP交渉への参加を検討しアジア太平洋貿易圏の構築をめざすと表明しています。TPPは原則としてすべての

よって、持続的な農業・農村の振興や食料自給率の向上、食料安



総務産建委員会 城地籍の災害を視察

しつもん



質 認知症対策の取り組みは

答 予防も含め学習会を

川 野 孝 子

質問 高齢化が進み、認知症への不安を抱える人も多勢いるのではないかと、豊丘村の認知症と診断されている人数は何人位か。

住民課長 介護認定者、現在三百七十五人の内、認知症と診断されてそれが原因疾患となっている方が百五十四名となっている。

質問 「あぐり河野」の定員は九名で、こういった施設がもう少し豊丘村に出来ないかという声もあるが、セミナーハウスの跡地利用に考えられないか。

村長 特養の待機者等をもみても必要と認識している。第五次の介護保険計画を作成するに当たり広域圏も含めて利用しやすい方法等検討していきたい。セミナーハウスが適地かどうかは検討する必要があると考える。

火葬場建設の今後の取り組みについて

質問 現在、凍結状態と言われている火葬場問題について少しでも前へ進んでいくことについてどのように考えるか。

村長 十二月二十三日に郷原自治会に五町村長が出向いて混

乱を招いたことについておわびをし、今後の候補地選定についても御理解をいただきたいと考えている。

質問 一日も早く火葬場が欲しいという声に対してどう考えるか。

村長 大勢の中で民主的議論をし方向性を決めるのが大切と考える。



増床計画もあると聞く「あぐり河野」

議会活動報告

十月～十二月

◎十月

- 四日 議会だより編集委員会
- 五日 北部ブロック正副議長・事務局長会議
- 六日 郡市議会議員研修会
- 七日～八日 社会文教委員会
- 視察研修（北陸）

- 十二日～十四日 総務産建委員会
- 視察研修（北海道）

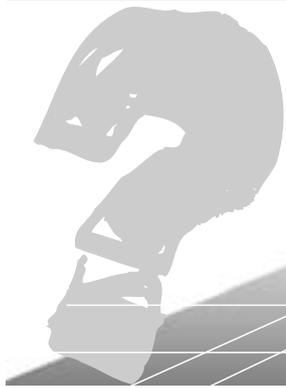
- 十二日 議会だより編集委員会
- 十五日 北部総合事務組合議会
- 十五日 議会だより編集委員会
- 十九日 第二回 臨時議会

- 二十一日～ 村づくりふれあい集会
- 二十二日 北部ブロック議員総会
- 二十六日 長野県議長会総会
- 二十七日 全員協議会

◎十一月

- 二日 中学生模擬議会
- 十一日 県議長会県要望活動
- 十二日 三遠南信サミット
- 十五日 阿部知事との懇談会
- 十七日～十八日 町村議会議長会
- 全国大会

- 二十二日 高齢者ふれあい集会
- 全員協議会・議会運営委員会
- 二十四日 広域連合議会
- 二十五日～二十六日 国会要望活動
- 二十九日 北部事務組合議会全員協議会
- 第四回定例会開催
- 議会運営委員会



いっぱん

質 道路改良地元負担軽減を

答 検討して参りたい

片 桐 秀 人

質問 山間地域の高齢化によって生ずるいくつかの問題について質問をした。日陰道の凍結道路対策は。

村長 今度の国の補正予算で対策を講じた。具体的には雪かき、塩カルまきをして頂く方に報酬をお支払いする方法で。

質問 道路の改良や修繕について地元負担があるが、人口が減少して大変である。負担軽減を。

村長 先月の土木申請時にも、この要望が出されている。軽減について検討して参りたい。

質問 洞田を耕作しなくなると河川に木や葦が繁茂しており、高齢化によって河川管理が大変になっている。何とかならないか。

村長 これも国の補正予算で、できることから手をつけて行きたい。

質問 荒廃農地に雑草が伸び住環境や景観を悪化させている。地主に草刈りを求めることができるような条例等は作れないか。

村長 課題解決に向けて、条例が良いのか前向きに検討したい。地域づくり交付金で協働でやって頂く方法もある。

質問 今、村では人口増対策で、

下段にはかなりの大金をかけている。山間地域からの若者の流出を防ぐよう、住宅のリフォームなり新築なりの援助をすることによって、若者定住の対策を行ったらどうか。

村長 一昔前までは行政と個人のかかわりの問題があったが、こうした課題がある場合は行政で手を差し伸べる時代と考える。



河川管理も大きな負担に

三十日
◎十二月

北部ブロック議会議員講演会

三日 第四回定例会 再開

全員協議会

議会だより編集委員会

総務産建委員会

社会文教委員会

県議長会役員会

一般質問

十六日 予算特別委員会・全員協議会

二十日 議会運営委員会

二十一日 第四回定例会 再開

全員協議会

【請願・陳情】

- T P P (環太平洋戦略的経済連携協定)の参加に反対する請願 <採 択>
- I L O看護条約・夜業条約に基づき、医療・介護労働者の大幅増員と夜勤改善を求める陳情 <継続審議>
- 国保の広域化ではなく、国の財政支援機能強化を求め、顔の見える市町村国保で、健康と暮らしを守る陳情 (採決 反対9人 賛成4人) <不採択>
- 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加を求める陳情 <採 択>
- 安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連公共事業予算の拡充と国土交通省の出先機関の存続を求める陳情 <採 択>

質 虹川大橋欄干工事内容は

答 高さ三メートルのフェンス設置

原 健 治

「城」地籍の崩落復旧は次年度中

質問 「城」地籍の崩落現場、主要な道路ゆえに不都合をきたしている。復旧工事の内容及び完成予定は。

産建課長 県での復旧工事となる。村としても重要な生活道路という認識の中で、できるだけ早い完成をお願いしていきたい。基本的には北澤さんの敷地は確保する形で対応したい。現地のボーリングによる地質調査は終えたが工法、工期については現段階では説明できるまでには至っていない。

汚名返上を願う虹川大橋

質問 広域農道にある虹川大橋。素晴らしい景観、眺めの良い所の一方で悲惨なことで知れ渡っている場所。フェンス取付工事の工法、工期は。

敬老会新たな取り組みを検討

質問 毎年九月開催の敬老会、年々



フェンス設置される虹川大橋

参加者が減少、新たな取り組み方を考える時期にきていると思われる。次年度から村の支援体制のもとで各地域で実施すると聞く。方向としては？

村長 年々減少していて寂しさを感じる。担当課で検討する。

住民課長 高齢者の集まる機会を多く作っていく中で敬老会について検討を加え実施し、これからも各区へお願いして行きたい。

質 吉川村政二期の総括と来期も出馬か

答 誠心誠意で村政、進退は最終日に

菅 沼 敏

質問 九月議会にも何って来ているが、村長は明言を避けてこられた。来期も村政を担うならその決意を述べる時は今議会であると考え。それとも勇退され後進に道を開くのか。その心中をお伺いする。

村長 私の力でよく三期も、誠心誠意体当たりで携わってこられた。健康であつたこと、良い周囲の皆様にも恵まれ、議会、住民の力添えの賜ものと感謝している。地域をより良くするために、その時代に即応して進めて行くには、常に課題はつきない。次期出馬するかは、私なりの考えはあるが、もう少し時間を頂ぎ判断したい。

質問 四期目の村政を担うにしろ勇退するにしろ、その考えを何時になったら明言されるのか。

村長 今議会の最終日あたりに方向性が出せればと思っている。

村営合葬墳墓の建設検討を

質問 墓守りなど後継者がいなくなり、将来に渡って先祖の祭祀ができないといった、ゆゆしき社会になった。このことは共同埋葬できる墓(飯田市)を建てることで解決する。伴野の慈恩院では永代に渡って供養管理をする墓としてすでに建てられている。村営での



慈恩院の合祀墓

取り組みを検討すべきと思うが、考えを伺う。

村長 都会等人口の多い所での需要であれば、自治体で建てる事も考えられるが、村独自の考えはない。

竹を枯らす方法の普及を

質問 竹を十二月〜二月の間に一メートルの丈に間伐することで枯れて一年後根がぼろつくとれる。

産建課長 健全な竹林再生、竹の子資源化へ広報等で普及したい。

質 減少傾向の敬老会の今後は？

答 出られる機会を多くもち良い方法考える

片 桐 眞理子

質問 敬老会は年々減少傾向であるが、今回伴野区で行った所、百名程の出席があつたと伺つた。今までは村一本で開催していたが、今後の方向性について、出られない人に対しての考えについて伺う。

村長 今の豊丘村があるのは敬老会に参加されている皆さんのおかげである。民生委員の方や地域の意向を反映させ

る中で良い方法を見出し出していきたい。住民課長 出られない人に対し昔はまじゅう等の配布をしたが今の所考えていない。地区であれ村であれ高齢者の方が多くの機会をつくって出て頂けるような場所作りをしていきたい。

質問 ボランティア事業の取り組みが始まり十一月に募集を行っているが何人位の申し込みがあつたか、内容についてはどうか、又事故等の対応はどうか。

住民課長 十七名の申し込みがあり、車の運転、ごみ分別、高齢者との話し合い等で明日はじめての打ち合わせがある。何か起こつた時の為にはボランティア活動保険に入っていきたい。

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの助成は？

質問 これらの三種のワクチン接種について国の予算の裏づけがとれた事で多くの自治体を取り組んでいる。村としてはどうか。

村長 十二月の追加補正で取り組んでいく予定である。

要望 国では市町村に1/2の負担を求めているが二年間の特例措置という事なので恒久的な制度にして頂く事を求めて頂きたい。



多くの人が楽しく集える敬老会を

質 福祉タクシーを公共交通にしたらどうか

答 オールタクシーは現状では厳しい

東 垣 外 厚

質問 通院や生活必需品を買いに行くのに不便であり、困っている人が大勢いる。二年間の実証運行で結論が出たと思うのに、もう一年やってみれば十倍二十倍に増えると思つていられるのでしょうか、一人二人増えてもなんにもならないと思いませんか。いちばん良いのはドアからドアのタクシーだと私は思う。福祉タクシーをもっと使いやすくして実証運行してみてもどうでしょうか？

例え一億円かかつたつてやってみる必要があるのではないか。総務課長 オールタクシーと言う意見も、公共交通会議の論議の中でも若干はありましたけれども、全面タクシーというものについては、現状はちよつと厳しいんじゃないか、できないんじゃないかという方向が会議のなかで出されたところである。

質問 住民課長が「先に募集した中に運転ボランティアというのが幾人かおいでになつた」と言つておられる。この運転ボランティアに大勢参加していただき車は軽で良いし燃料他を村が負担すれば、村民誰でも利用できる無料の福祉タクシーが実現

すると思つたので、いま一步研究をお願いしたい。火葬場も住民が早期の実現を望んでおり職員の高すぎる給料問題にも、住民の目線に立ちスピードを持つてやっ



軽四で料金の安いタクシーはできないものか

質 住宅リフォーム助成制度の創設を

答 来年度実施に向け検討したい

唐 澤 啓 六

質問 長引く経済不況の中、公共事業の減少や民間住宅着工の低迷等による受注減少で、地域経済の一翼を担ってきた村内建築関連業者の経営は厳しさを増している。しかし民主党政権の経済対策は全体として大企業の海外展開を後押しすることに主眼を置いており、ますます国内産業の空洞化をもたらし地域経済の疲弊を一層加速する。

輸出型製造業に依存した成長を続けることには限界があり、内需活性化への取り組みを強めるべきである。

今、全国各地でこの内需活性化のための取り組みとして「住宅リフォーム助成制度」が広まっている。これは住宅の小規模修繕に対して自治体が助成する制度であり、本村でも早急な取り組みを検討すべきと考えるが。

村長 厳しい経済状況の中で建築関連業者の仕事の激減には村としても対策を講じる必要があると考えている。後継者対策、生活上、経済等総合的な観点で「住宅リフォーム助成制度」も大切な施策であり、二十三年度から予算づけできるよう検討したい。



リフォームにも助成制度が必要

老人医療費への支援を

質問 病気にかかり易く、かつ重症化し易い高齢者にとって医療費の負担は本人のみならず、家族にとっても大変である。県内でも老人医療費の支援を実施している市町村も増えており、本村でも検討すべきと考えるが。

村長 それなりの予算を確保しなければ実施できないこともあり、内部でも少し時間をかけて検討したい。

質 TPP参加に対する村長の見解は

答 関係者同様不安を感じている

前 沢 光 昭

質問 日本政府は例外なき関税撤廃を進めるTPPへの参加の方向で検討を進めている。関税がなくなれば欧米以上の規模を誇る北海道農業も崩壊を招き、全国では関連して職を失う人が三五〇万人、食料自給率は十三%まで低下。豊丘村でも地域経済の崩壊を招く、政府は所得保障があるからさういうことにはならないと言っているが、今年始まったものを見ても実情は足しにもならない。豊丘村にとっても一大事であると思うが。

村長 豊丘村では農業に携わる人が多く、農業は水源の涵養機能、良好な景観等の役割を果たしている。村にとってはマイナスの影響を与えるTPPについては関係者同様不安を感じている。

子どもの貧困について

質問 現在の経済悪化はその先で子ども達の貧困があり重大な社会問題となっている。親の収入によって教育に大きな格差が出ているとの調査もある。行政としてもこの問題には熱心に取り組み必要がある。その中で収入のない家庭への就学援助は国基準による要保護は生活保護が基準になっている。市町



TPP参加は村にとってマイナス影響

村独自に定める要保護は生活保護基準の一・五倍のところだが豊丘村は要保護と同じである。基準の拡大をできないか。

教育委員会事務局長 就学援助は豊丘村では要保護は要保護に準ずるということで明確な基準ではなかった。いろいろ調べて見ると一・三倍から一・五倍と明確に定めている所が多い。収入以外にも生活実態も判断している。基準は検討したい。



早朝より稼働する塩カル散布車

質 きめ細かな塩カル散布車の稼働を!!
答 強い住民希望、十分な対応を図る

片 桐 義 憲

質問 村内生活道路においては改良工事も進み、幅員も拡張され、見通しも大きく道路とはなりつつも、冬期間に於いては、降雪や、凍結に襲われ、常習的に凍結する道路が全村にわたり点在している。区長会が取りまとめた報告によると三十箇所以上と聞く。アイスバーンとなる為塩カル散布も危険を伴

う。散布車での散布を切に希望する。まずこの様な箇所を地図におとし、又散布の目安となる、標識等、現場に設置すべきと思うのでお伺いしたい。

産建課長 幹線道路に於いては、早朝より除雪や塩カル散布をしているが、この他、特に凍結し危険な箇所については、日中に散布車を出動させる様、十二月補正で早急に対応する。又マツピング化し各区で専任の方をお願いし散布をしていただく事も考えている。

質問 村全体を柵で囲み、獣害を防ぐ防護柵設置の計画。事業費、設置後のメンテナンス等、村民の共通した認識と合意の形成が不可欠だ。又柵内の確実な駆除をする為にも、設置ラインをどこにするのか? 国や県の補助施策の見通しについても伺う。

村長 特に熊の相次ぐ出没は「戦地を歩く様なもの」と考え、法改正も含め補助施策を強く国や、県に求めている。もちろん村民挙げての取り組みのムード作りは行政責任。

産建課長 設置ラインについては、二三の原案をもち防護柵設置検討委員会で結論づけていきたい。二十三年度、農水省は十倍の予算確保とも聞いているので、次年度計画で取り組んでいきたいため、結論を急ぎたい。

質 農地を守るための公的機能を
答 考えていきたい

丸 岡 茂

天竜川架橋について

質問 竜東一貫道路への投資を活かし、北部地域の交通網整備に重要な橋。高森・喬木・豊丘三町村でつくる期成同盟会は設立から十四年。架橋実現に近づいているか、住民に伝わらない。

村長 看板の設置や、県道として県で架けるよう働きかけを行っている。年度内に住民大会も計画している。状況は同じレベルを行ったり来たり之感はある。

質問 村長は先の村政懇談会で、町村道として自前で架ける事にも言及された。私も、財源的には国補助や眠っている基金の活用などで視野に入っても不思議はないと思っているが、真意は、村長 県道としての建設が困難な場合、一つの選択肢である。

農地を守る抜本的対策

質問 農地を守る抜本対策が急務となっている。状況と対策は。

産建課長 耕作放棄地は百二十三ヘクタールで、五年間で十三ヘクタール増えた。労力不足に様々な施策で対応している。

質問 農業従事者は十年間で三百人減った。又、七十歳以上が半数を占め



中央アルプスを望む田園 (木門地籍)

議会 視察研修

委員会としての視察研修を十月に行つた。社会文教委員会は七日と八日に富山福井方面へ。総務産建委員会は十二日から十四日までの日程で北海道方面へ視察を行い研修を深めた。

真のエコロジー教育とは？ 疑問も抱いた豪華施設

初日は富山市立中央小学校を視察した。市内三校を統合し四百人弱の生徒数に三十億円の豪華な校舎を建築した。市内の生徒数の減少に歯止めをかけると共に、ESD教育（環境に配慮した持続可能な開発のための教育）を生徒に対して行っている。二十二年度は、一学年「なかよし、いっぱい」公園で自然と親しむ。二学年「ともに生きる、見つけよう、育てよう、ふれ合おう」一人一鉢の野菜を育てる。三学年「発見、発信、中央小探検隊」老舗や寺、神社廻りの中で地域を学ぶ。四学年「レッツゴー



開放感あふれる豪華な教室

いたち川調査隊」いたち川の河川清掃や観察。五学年「食の向こうに見える世界」田んぼで稲の有機栽培。六学年「自分でできることから始めよう」いままで学んだ事を実行に移す。

このように各学年ごとにエコ教育を行い、子供達へエコロジーの意識を植え込んでいる。現在ではユネスコスクールへも加盟している。

校舎の屋上には電動開閉式屋根と可動床を持つプールが設置され、太陽光発電盤と風力発電機も備えつけられている。また各教室には最新のサーキュレーションファンが設置され快適な温度を保っている。

回らない風力発電機を取り付けたたり、電動開閉式のプールの屋根が二酸化炭素の削減に逆行しているのは明らかだ。子供達に、真のエコロジー教育は難しいが、文科省や環境省のちぐはぐさを強く感じた。

保育園から特養まで

多面にわたる福祉事業を展開する 「わかたけ共済部」

戦後の混乱期、生活困窮者救済の為、授産所を立ち上げ、その後、社会福祉法人として、多面にわたる事業展開している、越前市の「わかたけ共済部」の三施設を訪れた。

小規模多機能型居宅介護施設



家賃補助はあるが
高額な入居料が必要
優良賃貸住宅

ビス提供がされているのが特徴である。介護需要の拡大に伴い、保育園、デイサービス、特養をセットとした、四階建て施設を隣地に増設中であつた。

高齢者向け優良賃貸住宅

「フォーユーエクスセルわかたけ」高齢者の身体機能に対応した設計、設備など高齢者に配慮した賃貸住宅である。一階はテナント、六階まで九十戸の規模。市街地活性化の為に市長の公約でもあつたことから所得に応じ、

白老町学ぶ議会改革

私達が先進事例を学ぼうとする町にはそれ相応のわけがあるので行政視察が殺到する。先方指定の日時には、三団体三十八人が集結。「白老町」の町名はアイヌ語の「シラウオイ」から転化したもの、位置は北海道の南西、有名な「登別温泉」「千歳市」「苦小牧」の真ん中あたり。研修の主目的は「議会改革」で議会の概要、常任委員会の構成、議会運営委員会の構成、会派の構成、議会の開催状況、委員会の開催状況、本会議の審議状況、議会の予算、議員報酬、費用弁償、町の予算等について説明をうけ、質疑応答でたいへん良い勉強となった。

当村においても議会改革はまったなしで、議員定数、報酬、議会開催日数など問題は山ほどあり早急に議論すべきである。



活発な質問攻勢の三市町村議員

市より家賃補助あり。又「低所得者層への更なる貢献。法人としての社会的責任を今後も充分に果たしたい。」と福祉理念を聞く。

特別養護老人ホーム「第二和

上苑」特養待機者の増大に伴い、利用定員八十名、ショートステイ十名を併設し二施設目として新設。平均介護度四・三。内認知症患者は九割と重度の利用者が多い。特にトイレ、排泄物処理施設は入念に設計。官と民が緊密な連携を図る中、民間の経営力学で進められている福祉施策の数々。当地域行政の民間委託に対する意識との差を感じる視察であった。

—地元管理での防護柵—

おためし暮らし制度

アツマ厚真町

次の日の視察は「鳥獣害対策」「移住、定住政策」で同じ北海道の「厚真町」。

まず役場庁舎内でレクチャーを受けた後、現地の見学。北海道には猪はいなくて、エゾ鹿の被害防止のためにネットが張り巡らせてあり、町自



張りめぐらされた防護柵を見る

体、意外と平坦な地形でネット張りの工事もし易かった。張つてあるネットも想像以上に柔らかで簡単、それでも鹿が押し倒して出る事は無いということ、管理は地元ですが当村とは比較にならぬほど平坦地のため、わりと楽で被害防止効果は大であるようだ。

冬でも雪はほとんど積もらず、空港に近いたためか町の開発分譲地は各区画も広々としていて、大きな家がいくつも出来ており別荘や永住家として使われている。

移住（入居）条件はいずれもほぼ同じで子供のいる若い家族を望んでいる。特筆すべきは「田舎暮らしツアー」「長期滞在プラン」といった六カ月から一年のおためし暮らしの制度があること。いっぽう北海道は広いだけに、車を利用できない人には不便であり、町民の足の確保問題が出てきている。これは当地方に限らず、日本の地方全体の問題でもあるわけだ。

新千歳空港午後七時発、十二時豊丘着という強行日程だった。

シリーズ「私、がんばっています」

小杉山勝彦さん、この人宇宙人みたい。二十年の自治会長から田村区建設委員、交通安全協会副会長、食品衛生協会推進員、趣味では、カラオケチャンピオン大会優勝、ウクレレ演奏、



ボーカル、特にハワイアン。中高年フラチーム、「ハイビスカス・フラ」「フラ・プルメリア」三十代の「ママフラ」へ、ウクレレでバックアップ。豊丘美術会所属の油彩画はプロ級の腕前。

公民館活動では男の料理教室がもしろいそうで、いま凝っている。シルバー人材では、不法投棄監視員、環境指導員として小園小野神社で埋め立てごみの監視にあたっている。本職は建築家一級建築士「杉建築デザイン研究所所長」である。尚、八年前から「飲み処こぎり」を営業中で、ワンコイン、ツウ

躍で休んでばかりいるが、開店するとすぐに満員になる不思議なお店で、なにがなんだかわからない不思議な「おやじ」を演出している。ジャズの流れる居酒屋では寝るのも遅いだらうに、夏なら朝四時から、家の周りにいっぱいある植物の鉢植などに水を撒ぎ、いくらか

いただき、思ったより安く出来ました。毎晩私の作業場で造り、あとの一杯は最高でした。保管する所も老朽化しており改築することとなり、積み立てが始まっております。二年後には出来る予定です。神輿のおかげで自治会が一層まとまった気がします。団地が出来て若い皆さんが頑張っておつてくれます。何と

コインで飲める可愛そうなくらい安い店でボラに大活躍で休んでばかりいるが、開店するとすぐに満員になる不思議なお店で、なにがなんだかわからない不思議な「おやじ」を演出している。ジャズの流れる居酒屋では寝るのも遅いだらうに、夏なら朝四時から、家の周りにいっぱいある植物の鉢植などに水を撒ぎ、いくらか

私の一言

私達中平の「どっこい」担ぎは湘南地方が発祥とされ、六年前に造り変える際に若い衆の希望「わっしょい」から「どっこい」に変わりました

提燈は各戸で買ってもらう、殆ど無償で提供して

をしております祭の誘いも有り、睦天竜さんの神輿を担ぎに出ます。松川町新井の祇園

神輿を担いでみませんか

文 秋 山 吉 中平

神輿の歴史は古く、徳川三代將軍家光の子家綱が生まれた時に下々の人達が担ぎ祝ったのが江戸担ぎの始まりと聞いております。私達中平の「どっこい」担ぎは湘南地方が発祥とされ、六年前に造り変える際に若い衆の希望「わっしょい」から「どっこい」に変わりました

日本神輿協会に加盟

から助成金が出ます。とおか祭りに欠かせない出し物になって来ました。いっしょに汗を流しませんか。



ウクレレを演奏する小杉山勝彦さん

編集後記

▼新年を迎え心新たに一年の出發が始まる。昨年の漢字は「暑」であったが、年末から新年にかけては厳しい冷え込みがあり今の政治と同様に「寒」そのものである。大変厳しい時代であるが楽観主義で前向きに生きていきたいものである。

▼十二月の定例会で、議員定数十四名を十二名に改める条例改正の發議が出された。審議の結果は賛成六、反対七となり、議員定数は十四名で議決された。定数の削減については賛否両論があるが、いずれにしても議案が何をしているかがよく理解されていなくてという事がある。活動の情報公開をしつかりと努めていかなければならないと思つて居る。

▼今年の新成人は戦後、最少の百二十四万人。総人口の1%を割るのは初めてという事である。豊丘村でも三日に成人式が行われ、七十五名が新成人となった。夢に向かって決意を語る姿がとても輝いていた。一般的なことではあるが、気になるのは、若い世代の政治離れである。四月には統一地方選挙が行われる。吉川村長は不出馬を表明され、村長村議選の選挙戦が始まる。若い世代の皆さんも村政に関心を持ち、豊丘村の発展に寄与して頂ければうれしい事である。